

授業科目名	陸上競技（トラック）コーチング論演習	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	松村 勲			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1	受け入れ人数	若干名
授業の概要 及び達成目標	陸上競技トラック・ロード種目のコーチング場面に繋がるさまざまな知見を取り上げ、議論していくことにより、多角的で体系的にコーチング論を整理することを、本授業の目的とする。このことにより、陸上競技トラック・ロード種目のコーチングにおける高度なコーチングの基礎を身に着けることが期待される。				
成績評価の方法	学期末試験の成績（0%） 出席状況（30%） 授業への取り組み状況（50%） レポート等の提出状況（20%） を総合的に評価する。				
成績評価の基準	各授業での発表やディスカッションの内容およびレポートの内容を総合的に評価する。				
テキスト、教材 参考書					
履修条件・ 関連科目	陸上競技のトラック・ロード種目を専門とする者。 競技者として、研究対象としてのいずれか。	備考(教員メッセージ含む)			
オフィス・アワー	月～木の12:00～15:30、研究等3階310研究室				

授業計画

回	担当教員名	授業内容	授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)
1	松村 勲	陸上競技短距離走（スプリント）についての先行研究を探る	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
2	"	陸上競技短距離走（スプリント）の先行研究についてまとめる	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
3	"	陸上競技短距離走（スプリント）の先行研究について議論する	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
4	"	陸上競技中距離走についての先行研究を探る	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
5	"	陸上競技中距離走の先行研究についてまとめる	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
6	"	陸上競技中距離走の先行研究について議論する	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
7	"	陸上競技長距離走についての先行研究を探る	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
8	"	陸上競技長距離走の先行研究についてまとめる	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
9	"	陸上競技長距離走の先行研究について議論する	事前に図書館等で興味のある文献等を探す
10	"	自身の競技生活内容を発表し、ディスカッションする	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
11	"	自身の競技生活内容を発表し、ディスカッションする	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
12	"	自身の競技生活内容を発表し、ディスカッションする	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
13	"	陸上競技トラック種目におけるコーチング方法を発表し、ディスカッションする	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
14	"	陸上競技トラック種目におけるコーチング方法を発表し、ディスカッションする	事前にパワーポイントで資料を作成しておく
15	"	陸上競技トラック種目におけるコーチング方法を発表し、ディスカッションする	事前にパワーポイントで資料を作成しておく